

## 地域人材ネット

官民協働・共助社会づくりと地域資源循環と挑戦を支える伴走支援等の仕組みづくり

山田健一郎

( やまだけんいちろう )

公益財団法人佐賀未来創造基金/一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム 代表理事



### ○ 登録者情報

所在地

佐賀県佐賀市

## 略歴

早稲田大学卒業後に東京や佐賀で教育・福祉・環境・まちづくりなど各分野の地域活動を行う。佐賀県への出向経験を有し、県とCSOの橋渡し役として長年にわたり協働施策に関わってきた。佐賀県域や市域の中間支援組織での地域支援活動を行いながら、2013年に佐賀未来創造基金を立ち上げ、「市民からの寄付で地域の課題を解決する」地域支援の仕組みを一から構築してきた。佐賀未来創造基金の代表として、2013年の設立以降、県内外のCSO(市民社会組織)を対象とした「助成」と「伴走支援」事業を展開して以下の受賞歴などを有する。

・令和元年度

「ふるさとづくり大賞(総務大臣表彰)」団体表彰

受賞理由: CSOへの支援を通じた地域課題解決への取り組みが評価

・2020年度

「第11回地域再生大賞」大賞(地方新聞46紙・共同通信社)

コロナ禍や災害対応をはじめ平時の地域資源の循環により支え合う社会の実現に寄与した点が評価

・2020年度

「第11回日本ファンドレイジング大賞」大賞(日本ファンドレイジング協会)

先駆的なファンドレイジング手法と寄付文化醸成への貢献が日本型のコミュニティ財団として高く評価

これらはいずれも全国規模の表彰であり、地域金融・寄付・市民活動をつなぐ実践が、国レベルでも高く評価されていることを示している。

また、公益財団法人日本非営利組織評価センターから公益法人としては日本で初めての「グッドガバナンス認証」を受けたことで組織としてのガバナンスにも日本でも秀でていることを示している。

個人としては、県民協働による地域づくりで県政の発展に寄与した功績で「県政功労者表彰」を受賞、また全国コミュニティ財団協会や全国レガシーギフト協会の代表などをつとめた実績もあり、県内外でも寄付文化醸成やコミュニティの活性化や地域づくりに広く貢献。

## 〇 官民協働・共助社会づくりと地域資源循環と挑戦を支える伴走支援等の仕組みづくり

### 取組の内容

ファンドレイジングの取り組みとしては、佐賀県の「NPO等指定ふるさと納税」制度を活用した寄付スキーム、30万円から設立できる「冠基金」、遺贈寄付、企業版ふるさと納税、休眠預金等活用事業など、多様な資金源を組み合わせており、子どもの居場所・学習支援、ひとり親家庭支援、フードバンク、空き家活用、地域の居場所・コミュニティカフェ、スポーツとまちづくり等、幅広い分野の事業を継続的に支える資金支援に加えて、ファンドレイジング(資金調達)や組織基盤強化・地域連携やネットワークづくりなどの地域での生態系づくりの伴走支援事業を行い、資金提供にとどまらない伴走支援の仕組みを構築している。

具体的には市町でのこども食堂をはじめとしたこどもの居場所の立ち上げ及び運営支援等を現場でも行ったり、中心市街地の活性化のために自らの商店街の副理事長に就任して佐賀市でのエリアマネジメント協議会を立ち上げて、商店街の事業者支援をはじめ、空家調査や活用、お祭り、イベント、勉強会などをCSOと連携しながら実行委員長などの役割も、伴走支援だけではなく自らも実践者として地域活動のリーダーとして活動する。

さらに、災害分野では、佐賀災害支援プラットフォーム等を通じ、日本屈指の災害中間支援組織として地域のコーディネーションや三者連携等を実施。



自治体との災害協定式



企業連携での冠助成金贈呈式

## 実績

佐賀未来創造基金は設立から数年で約1億9千万円の寄付を集め、400団体以上に約8,500万円を助成、その後も支援対象を拡大し、2021年度までに700団体以上へ総額約5億円を配分されている。これは、地域県域におけるコミュニティ財団としては全国でも突出した規模である。

特に、佐賀県が実施する「NPO等を指定できるふるさと納税制度」において、佐賀未来創造基金は寄付の受け皿・助成主体として機能し、県とも対話を重ねながら制度の改善を協働で行い、自発的な地域づくりを後押ししている。

単に個別事業を支えるだけでなく、「地域内でお金と人と想いが循環する仕組み」としてのコミュニティ財団の役割を具体化しており、他地域への横展開が可能な実践知を蓄積している取り組み。これらの実績は、地方自治体が抱える人口減少・財政制約・福祉・防災・地域経済といった複合課題に対し、「お金の流れ」と「人と組織のネットワーク」を同時にデザインして解決していく、極めて先進的な取り組みである。

## 工夫した点や苦勞した点

行政に所属していた経験から行政やCSO、地域との顔の見える関係づくりや対話、そして相互理解することを大切にしています。一緒に汗をかき、地域の困りごとを解決していくために粘り強く官民協働や三者連携などの実践を行いながら仕組み化することで現場からの変化を創ってきました。

自分たちが主役ではなく、CSOや起業家など資金調達や地域資源の循環という手段を活用しての連携や挑戦などを地域から支える視点などを意識して戦略的に地域づくりを進めていくようにしています。

## ひとことPR

地域資源の掘り起こし及び活用、寄付集めや基金づくりの伴走支援など資金をはじめとした社会資源（人・もの・かね・情報）の地域循環や活用策、行政及び企業との協働や協業、三者（四者）連携の災害中間支援としての防災や災害対応、空家活用、不動産等を含む遺贈相談対応、コミュニティ形成支援、伴走支援による地域おこし活動支援などあらゆる地域づくりをコミュニティ財団として進めてきている存在です。どうぞよろしく願いいたします！

## ○ 参考

### 取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
地場産品発掘・販路開拓	○ 中心市街地活性化
6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
○ 経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	○ 商店街活性化
地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
○ 地域医療・福祉	分散型エネルギーシステム
地域交通	地球温暖化対策
集落機能の確保	廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
○ 地区防災計画	インバウンド対応
○ BCP	民泊・農泊
○ 避難所運営	地域おこし協力隊の推進
○ 感染症対策	その他
○ その他 災害中間支援組織設立・運営等	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	○ 起業・事業承継等支援
○ 地域おこし協力隊の推進	○ 空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	○ 地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	人材研修
働き方改革	ふるさと教育
○ 子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
○ その他 社会的孤立対策支援・こどもの居場	○ その他 づくり分野のAI等活用の推進や人材
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
EBPMに基づく政策立案	
その他	

### 関連ホームページ

公益財団法人佐賀未来創造基金	<a href="https://saga-mirai.jp/">https://saga-mirai.jp/</a>
一般社団法人佐賀災害支援プラットフォーム	<a href="https://s-spf.com/">https://s-spf.com/</a>
山田健一郎(Facebook)	<a href="https://www.facebook.com/yamaken0713/">https://www.facebook.com/yamaken0713/</a>

### 連絡先

メールアドレス	info [アットマーク] saga-mirai.jp		
---------	-----------------------------	--	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。